

## 平成30年度事業報告書

平成30年 4月1日から平成31年 3月31日まで

(法人の名称：特定非営利活動法人原始感覚舎)

### 1 事業の成果

- ・今年度は文化庁の助成を受け、以下の事業を行った。

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
(1) 文化・芸術イベント・ワークショップ等の企画・制作・運営事業	「信濃の国際 原始感覚アーティスト・イン・レジデンス (SP-AIR)2018」の運営と「信濃の国 原始感覚美術祭 2018 -水のハレとケ」の開催	(A)平成30年6月1日(金) -12月31日(日) (B)長野県大町市西丸震哉記念館、信濃公堂など (C)10名	(D)大町市民 美術祭に惹かれて集う県外者と市外者 アーティスト (E)のべ703人	2,213
(2) 文化・芸術の普及に関する人材の発掘・育成事業	実施しなかった			
(3) 文化・芸術施設の管理・運営の受託事業	実施しなかった			
(4) 文化・芸術に関する情報の発信及び広報活動事業	実施しなかった			

<p>(5) 文化・芸術を活動の核とした、まちづくりのための実践、空き家再生事業</p>	<p>実施しなかった</p>			
<p>(6) 上記(1)から(5)に関する連携、交流及びサポート活動事業</p>	<p>「第14回まつしろ現代美術フェスティバル-泉水路」の共催、運営サポート</p>	<p>(B) 平成30年8月25日(土) —9月4日(月)  (B) 長野県長野市松代藩文武学校など (C) 6名</p>	<p>(D) 松代町民  美術祭に惹かれて集う県外者と市外者  アーティスト  (E) のべ4095人</p>	<p>340</p>

(記載上の注意事項) ※この事項は、提出する様式に記載する必要はありません。

1 「2事業の実施に関する事項」は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載してください。

なお、法人税法上の収益事業と非収益事業の区分ではありませんのでご注意ください。

2 2の(1)は、事業ごとに定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載してください。

3 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載してください。

4 2の(2)は、事業ごとに定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載してください。

また、定款上で「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、当該事業年度に実施しなくても、必ず「実施しなかった」と記載してください。